

海賊版等対策官民実務者級連絡会議（第4回）

議事要旨

○議事1（海賊版対策に係る政府の取組）

事務局から、政府全体の海賊版対策に関連する予算事業や、別の会議体であるコンテンツ産業官民協議会、コンテンツ戦略タスクフォース、コンテンツ戦略ワーキンググループにおける海賊版対策に関する議論の内容を含め、海賊版対策に係る直近の議論の内容や取組を説明した（資料1-1から1-4関係）。その後、法務省から海賊版に関する民事上の請求について（資料2関係）、文化庁及び経済産業省から、令和7年度補正予算及び令和8年度当初予算案における海賊版対策に関する事業の内容について説明があった（資料3及び4関係）。

○議事2（海賊版対策に係る民間の取組）

一般社団法人ABJ、一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）、一般社団法人レコード協会、国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）、出版5社マンガ海賊版サイト対策会議（JPMAC）、日本放送協会（NHK）から、資料5から資料10に沿って説明があった。その後の意見交換を通じて、外務省のODAを活用した海賊版対策の重要性、ベトナムに続きインドネシアにおける海賊版対策についても官民連携した取組が必要である旨の発言があった。

○閉会

座長から本日の議論の総括を行うとともに、年度毎に更新を行う「インターネット上の海賊版対策に関する工程表」について、メールベースで更新作業を行い、追って公表することとなった。

（以上）